

(様式3)

事業所名 グループホームエフビー波田

ユニット名 1階・2階

作成日: 令和 5年 1月 23 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍で外出の機会がなかなか作れない。気分転換となる日々のレクリエーションをもっと充実させたり、玄関先での外気浴の頻度を多くする等、できることから取り組む職員の姿勢を変えていく必要がある。	レクリエーションの機会が多くなり利用者様の笑顔が増え、天気の良い日は外気浴や散歩等で気分転換を図ることができる。	1日の中でレクリエーション担当の職員を決め、いつ何をやるか考え実施する。少人数で短時間でも玄関から外へ出る機会を設ける。職員一人ひとりがそういう意識を持てるよう会議などで周知していく。	12ヶ月
2	4	コロナ禍で運営推進会議が書面開催となっており、地域住民や地元の関係者との繋がりが希薄である。	地域住民や地元の関係者との繋がりが密なものとなり、災害時などの緊急時に助け合えるような関係作りができる。	ウィズコロナを受け入れ、感染予防を行いながら運営推進会議を開催したり、地域住民や地元の関係者との所へ足を運び、顔の見える関係作りをしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月